



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松風

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 梅田 隆宏

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	16,454	△3.5	996	△17.1	869	△22.7	653	△9.4
28年3月期第3四半期	17,050	16.3	1,202	△0.3	1,124	△10.1	720	△5.8

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 938百万円 (11.3%) 28年3月期第3四半期 843百万円 (△53.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	41.07	40.80
28年3月期第3四半期	45.13	44.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	28,566	22,035	76.8	1,380.66
28年3月期	28,305	21,500	75.7	1,340.00

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 21,930百万円 28年3月期 21,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
29年3月期	—	8.00	—		
29年3月期(予想)				12.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)29年3月期(予想)期末配当金の内訳 創立95周年記念配当 2円00銭

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,304	△2.9	1,514	△3.5	1,164	△16.4	788	△0.1	49.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	16,114,089 株	28年3月期	16,114,089 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	230,225 株	28年3月期	132,879 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	15,913,112 株	28年3月期3Q	15,974,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策により雇用・所得情勢が改善するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、英国のEU離脱問題による影響や新興国経済の減速懸念、また米国新政権の政策の不確実性など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、16,454百万円と前年同期比595百万円(3.5%)の減収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、6,622百万円(対売上高40.2%)と前年同期比476百万円(6.7%)の減収となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費が前年同期比6百万円(0.1%)増加し、営業利益は996百万円と前年同期比205百万円(17.1%)の減益となりました。さらに、為替の影響により営業外損益が悪化したため、経常利益は869百万円と前年同期比254百万円(22.7%)の減益となりました。税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、653百万円と前年同期比67百万円(9.4%)の減益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、当第3四半期連結累計期間に市場投入した歯科接着用レジンセメント「ブロックHCセム」や歯科重合用照射器「ペンブライト」、またCAD/CAM関連の新製品が売上げに寄与いたしました。市場での競争が激しさを増し、前年同期比減収となりました。海外では、北米・中南米や中国を中心に堅調に推移しましたが、円高による為替の影響により、前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、14,999百万円と前年同期比590百万円(3.8%)の減収となり、販売費及び一般管理費が減少したものの、営業利益は1,009百万円と前年同期比149百万円(12.9%)の減益となりました。

(ネイル関連事業)

ネイル関連事業は、国内において価格競争の激化が続き、厳しい市場環境のなか、売上げが低調に推移いたしました。また、ジュエル製品に関しては、カラージュエルの新色投入等によりプロモーションを強化して巻き返しを図りましたが、前年同期比減収となりました。一方海外では、積極的な販売活動が功を奏し、アメリカや台湾においてLEDジュエル「Presto」の売上げが好調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,385百万円と前年同期比13百万円(1.0%)の減収となり、利益面は営業損失36百万円と前年同期比54百万円の減益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、69百万円と前年同期比7百万円(12.7%)の増収となり、営業利益は19百万円と前年同期1百万円(7.0%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ260百万円増加し、28,566百万円となりました。

資産では主に、投資有価証券が増加しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ274百万円減少し、6,530百万円となりました。未払費用などの流動負債その他や、長期借入金の減少が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加し、22,035百万円となりました。その他有価証券評価差額金の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント上昇し、76.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,413	4,651
受取手形及び売掛金	3,185	2,869
有価証券	80	53
商品及び製品	3,885	3,782
仕掛品	863	879
原材料及び貯蔵品	872	992
その他	1,080	918
貸倒引当金	△114	△89
流動資産合計	14,265	14,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,982	7,983
減価償却累計額	△4,715	△4,862
建物及び構築物(純額)	3,266	3,120
その他	9,144	9,338
減価償却累計額	△5,683	△5,829
その他(純額)	3,460	3,508
有形固定資産合計	6,727	6,629
無形固定資産		
のれん	649	584
その他	1,113	1,001
無形固定資産合計	1,762	1,586
投資その他の資産		
投資有価証券	4,508	5,317
退職給付に係る資産	669	628
その他	381	352
貸倒引当金	△9	△7
投資その他の資産合計	5,549	6,290
固定資産合計	14,039	14,506
資産合計	28,305	28,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	647	618
1年内返済予定の長期借入金	385	505
未払法人税等	115	252
役員賞与引当金	44	36
その他	1,856	1,632
流動負債合計	3,049	3,045
固定負債		
長期借入金	1,729	1,355
退職給付に係る負債	177	186
その他	1,847	1,943
固定負債合計	3,755	3,484
負債合計	6,804	6,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	10,600	10,967
自己株式	△122	△252
株主資本合計	19,530	19,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,781	2,354
為替換算調整勘定	137	△186
退職給付に係る調整累計額	△34	△4
その他の包括利益累計額合計	1,884	2,163
新株予約権	73	87
非支配株主持分	11	17
純資産合計	21,500	22,035
負債純資産合計	28,305	28,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	17,050	16,454
売上原価	7,238	6,841
売上総利益	9,811	9,612
販売費及び一般管理費	8,609	8,616
営業利益	1,202	996
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	60	69
会費収入	86	85
その他	75	103
営業外収益合計	228	263
営業外費用		
支払利息	11	7
売上割引	124	122
当社主催会費用	111	111
為替差損	35	112
その他	22	35
営業外費用合計	305	390
経常利益	1,124	869
特別利益		
固定資産売却益	21	-
投資有価証券売却益	35	-
特別利益合計	56	-
特別損失		
投資有価証券売却損	25	-
製品自主回収関連費用	51	-
特別損失合計	76	-
税金等調整前四半期純利益	1,105	869
法人税等	378	211
四半期純利益	726	658
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	653

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	726	658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	572
為替換算調整勘定	48	△322
退職給付に係る調整額	△27	29
その他の包括利益合計	116	279
四半期包括利益	843	938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	838	932
非支配株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	15,589	1,399	61	17,050	—	17,050
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	4	4	△4	—
計	15,589	1,399	65	17,055	△4	17,050
セグメント利益	1,159	18	17	1,195	6	1,202

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	14,999	1,385	69	16,454	—	16,454
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	0	4	5	△5	—
計	14,999	1,386	74	16,460	△5	16,454
セグメント利益又は損失(△)	1,009	△36	19	992	4	996

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に變更しております。

当該変更により、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。